

《令和3年度 自己評価結果 公表シート》

学校法人長生学園 認定こども園 明幸幼稚園すまいる保育園

《評価段階 4…よくできている 3…まあまあできている 2…あまりできていない 1…全くできていない》

【幼稚園】

評価項目		内容	平均評価値
① 保育の 計画性	園の理念 教育要領 教育課程	●園の建学の精神や理念、教育目標を理解している	3.0
		●教育要領を読み、園理念の理解とあわせて園長や保育者と話し合う	2.7
		●指導計画は、教育要領・教育課程そして幼児の実態に即して作成し、周囲の状況や変化に対応できるものとしている	3.1
	環境構成	●指導計画に基づいた安全で安心感、清潔感のある環境を構成する	3.2
		●幼児が主体的に関わりたくなるような素材や遊具に配慮し、必要な数量を用意する	3.2
		●幼児の発達を見通し、より豊かな活動が展開できるよう環境を再構成する	3.1
		●園内外の自然への理解や、季節の変化に応じた環境の構成をする	3.2
	評価・反省	●自己の保育についての評価・反省を様々な観点から行う	3.0
		●自分の保育を評価・反省することで、園全体の保育に活かしている	3.3
② 保育の在り方 幼児の対応	健康・安全	●日頃から園内の危険個所に配慮する	3.6
		●毎日の園児の健康視診を大切にする	3.8
		●事故やケガが発生した場合は迅速に適切な処理を行う	3.4
	幼児理解	●幼児一人ひとりをよく観察し、幼児の思いを受け止める	3.3
		●幼児同士の関わりの姿から、個々の成長発達をふまえ、見通しを持って理解する	3.3
	指導	●幼児の思いや考えに共感し、受け入れる	3.5
		●規範意識・道徳性を培ううえでモデルとなるよう心がける	3.4
	●幼児の年齢・発達に応じた指導や援助をする	3.2	
③ 保育者の 資質・能力	姿勢 能力 義務 組織	●ふさわしい清潔感ある服装、髪型、身だしなみを心がける	3.6
		●職務上の情報等の秘密を守秘する	4.0
		●社会人の常識をわきまえ、行動する	3.7
		●教職員組織の協調性を大切にし、チームとしての自覚を持つ	3.2
		●率直な意見交換を行い、組織内の問題の共有化に努める	3.2
		●当番や役割義務など、課せられた仕事は確実にを行う	3.2
		●保育者としての感性・教養を深める	3.1
④ 保護者への対 応	対話・交流 クレーム対応	●保護者に幼児の様子を的確に伝える	3.0
		●保護者からの相談や要望をよく聞くように心がける	3.7
		●保護者との対応には公正さを信条とし、保育時間外でも誇りと自覚を持った言動・行動を心がける	3.5
		●電話での対応は、わかりやすく真摯な対応に努める	3.4
		●保護者からの話して、自分で判断出来ない場合は、園長・主幹等に報告、連絡、相談をする	3.8

		●クレームの内容によっては教職員組織全体で共有化し、共通理解の上で対処する	3. 7
⑤ 地域・自然・ 社会との かかわり	地域・自然・ 人とのかかわ り	●地域の自然や施設、行事等について理解し、利用する	3. 0
		●地域の人々とあいさつや会話を交わし、親睦に心がける	3. 1
	小学校との連 携	●小学校の教育内容について理解するよう努める	2. 8
		●地域の小学校行事や公開授業等に関心をもつ	2. 8
	子育て支援 地域への開放	●子育て支援や地域開放について、内容を理解する	3. 0
	●子育て支援や地域開放について、教職員全体で取り組む	3. 1	
⑥ 研修と研究	研修・相談等 の 意欲・態度	●研修会や研究会には自己課題を持って積極的に参加する	3. 3
		●自分の保育のあり方や悩みについて、他の保育者や主幹、園長に相談する	3. 3
		●自分の保育について自己課題をもって取り組む	3. 2
	保育者として の 専門性に関す る 研修	●幼児の発達に必要な知識を学び、現場に活かせるよう取り組む	3. 2
		●記録の取り方、考察の仕方を工夫し幼児理解を深める	3. 1
		●教育課程や指導計画の理解を深め活動に取り組む	2. 8
		●実践に基づいた評価方法と計画に関する話し合いを行う	3. 0
		●幼児の発達を見通した環境構成ができるよう設定する	3. 2
		●保護者への対応に関する研修や話し合いをする	3. 0
		●地域社会との交流について関心を持つ	2. 8
		●組織内の協力・連携について考え取り組む	3. 0
	課題に 関する 研修・相談	●アレルギー、成長の遅れ、問題のある幼児について理解する	3. 5
		●預かり保育や子育て支援に関心を持ち取り組む	3. 0
		●幼小連携の必要性や具体的方法について園内研修する	3. 0
		●子どもたちの安心・安全に関する、危機管理の必要性と対応について相談する	3. 1
●社会情勢について関心を持つ		3. 0	

<考察として>

全体的に昨年より個々に評価が上がっている。その背景には昨年度の反省を活かし、園内研修など話し合いや相談の場を増やし、保育の振り返りを行うことで評価に繋がったように思う。

○保育の計画の点では、昨年の反省を活かし、職員間で園内研修を行ったり幼児の実態に合わせた計画をし、日々の保育に目的をもって取り組めた。また、子どもたちからの興味関心ある継続的な活動を取り入れることができた。

○ 小学校との連携の点では、今年度もコロナウイルス感染拡大防止の為、学校との交流がなかなか持てない状況だったが、学校関係者評価委員会を行い、近隣の校長先生から参観していただいたり、研修でアプローチカリキュラムやスタートカリキュラムなどを学びながら理解できるよう今後も取り組んでいきたい。

自己評価は個人差があり評価にばらつきはあるが、職員 1 人ひとりが振り返る場となり評価することで課題も見えるため、有効である。

今後も職員で同じ方向性をもって取り組み資質向上を図っていきたい。